

地域支え合い活動エピソード集（小学校区順）

<一小学区>

- 子供達の成長を支援していると考えれば達成感が最高。決まった時間に起床し、自身の生活が充実する。親子さんとの知り合いが増え、地域の力に…。
- 一小学区は以前（10年ほど）に比べ「わいせつ事件」の発生が目立つ様です。それに比し見守り参加者が減少気味で淋しきかぎりです。（かく申し上げる当方も不参加傾向で申し訳なし）高齢者？70代人口増加なのに淋しきかぎりです。何故ですかね？
- 子供達だけでなく近隣の方々も“おはようございます”と言って下さるので沢山の方と顔見知りになりました。又、高校の男子も3人ほど必ずあいさつをしてくれます。（小学生は1年の時からずっと続いていてこの春から中学生になる子が2人、その他2年と4年の子）がいます。病院の院長さんはじめ職員の方達もあいさつをして下さいます。
- 子供達が大きな声で「おはよう！」と返事を返してくれるととても、うれしく思い、又、明日も頑張ろうという気になります。
- 子ども達だけでなく、朝この信号を渡る方と御挨拶をかわすことで、随分お顔見知りが増え、輪が広がっていく事を感じます。また、もう中高生になったのですが、そのお子さんが5年生の時、冬の寒い朝“おばさんハイ”とカイロをくれました。その温かい心遣いに、今も使わず大切に毎日持っています。

<二小学区>

- 活動をはじめ10年すぎ一年生からふれあい見守った子供たちが中学 - 高校 - 大学と成長する姿を本当に楽しみに今でも夏休みに突然外国から手紙等々、短期留学での思い出話、今の自分の成長や目標等々男の子女の子、お手紙をいただき我が子のようにお話出来る幸福をいただいています。ご近所の方々にも子供達が楽しそうにお話しているのがうらやましいと言われる事もあります。
- 二小児童はじめ、保育園の小さな子どもさん、高校生通勤の方々とも挨拶を交し、今日一日が元気なよい日でありますようにと。自転車の走行ルールがもう少し、わかりやすいと良いのですが。ときとき、ひやり！とします。
- 戸倉通りの一番西の区域です。国立、立川と隣接するので、国立駅へ向かう、自転車、またその逆と、急ぐ方が多いのですが、皆様協力的で、子供達を優先して下さいます。地域の方や大勢の方に守って頂いていると、嬉しく思います。
- 登下校中の私語を禁じる指導があるようですが、元気に喋りながらの登下校の方が楽しく、良い姿だと思います。

<四小学区>

- 毎日学童を見守って評判がとても良いです。
- この11年間の中では、「良かったなあ〜」と思える事は多くあります。人との出会いとあります。子供たちの成長もあります。
- 子供達へ、私より声を出して、ハイ・おはようございます…と声かけし、10人中8人が声は大小あるが返答をしてくれています。気をつけて、行ってらっしゃい。
- 朝、子供達と“おはよう”“行ってらっしゃい”〜と声をかけると元気な声で“おはよう”“いってきます”と返ってくる。その明るい顔にこちらが今日も元気をもらい感謝でいっぱいです。今日も楽しい1日を過ごせますように〜と祈る日々です。

<五小学区>

- 自分たちのために安全・安心と思って見ていると好意ある態度で反応する子どもたちが多くなった。「行って来ます」とやる気ある元気な姿を示す子どもが多くなった。私と子どもたちの気持ちの通じ合う所があると思えることがあるようになり良かったと思えるようになった。
- 見守りをしている場所から少し離れた場所の近くで登校時、五小の児童とバイクがぶつかり大きな事故になりました。朝は通勤の車やバイクも多くスピードも出ています。せめて登校時見守っている時間帯は事故を防げたらと思います。子供達にはいつも声掛けをして、安全に登校してもらいたいと思っています。
- トイプードルと一緒に毎日立っています。一年生男児は新道を通って行く方が安全なので我が家の愛犬に会いたいと一・二学期は私の立っている所を通ってくれました。三学期からは近くにお友達がいたので通らなくなり新道を行っています。子供達のお母様に会った時朝のお礼を言われるとうれしいです。
- 新しく道路が出来、大人がルールを守らないので困っています。

<六小学区>

- 地域の方と知り合いになれたこと。
- 登下校の見守り活動をさせて頂いて、11年になりますが、腰ぐらいまでの背丈のランドセルの方が大きく見える1年生が、6年生になり卒業して行く、成長のすがたを拝見していますが、大きなパワーを感じる毎日です。「おはようございます！」の大きな声は、1日の活力になります。
- あいさつがきちんとできること。(対面した時など)声かけをした時、返事がかえってきた時。(特に笑顔がみられた時など)

<七小学区>

- 朝のあいさつで元気になれる。

<十小学区>

- 生活リズムが保たれる。通勤・通学の人達との挨拶がスガスガしい。子ども達との面識があり、他の所でも挨拶があり、気分が良い。子ども達からのお礼の手紙に感激した。下校時の活動が出来ないのが残念である。
- 愛犬と歩いていると近所の大人が子供達に声をかけて頂くとお話をしたりして交流が出来て嬉しくなります。
- 昨春、新しい住宅街ができ、家の前を小学生が通るようになりました。朝、登校時に「おはようございます」と声をかけ続け、やっと最近「おはようございます」と返してくれるようになりました。その間約1年。地域はあせらず、ゆっくりつくられていくものなのだと実感しています。
- 通り沿いの建物の新築や修復工事などの関連車両で、登校時間帯にも関わらず、歩道がぼふさがれてしまったことが昨年2度ありました。それらの車両を避けるために車道に出してしまう子どもが見受けられ、思わず「黄色の腕章」を腕に巻き付け、瞬間、普通のおばさんから「見守りの人」となり、登下校の時間帯には特別な配慮をお願いしたい旨参上する勇気をもったのでした…。
- 現在通学路のボランティアさんが居なく、有志の保護者数名で信号付近の見守りをしています。今まで毎日見守っていて下さった方のおかげで安心して子どもを送り出してましたが、かなしいことにお亡くなりになり、つくづくボランティアさんの活動に感謝しております。毎日、寒い日も暑い日も天候の悪い日も立ってくださるのは、容易なことではありませんが、どなたかボランティアさんがいらっしゃらないかな…と日々思っています。

(以上、平成29年4月末現在)